

2020年10月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2020年10月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある。9月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は幾分悪化した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、弱い動きが続いているものの、持ち直しつつある。設備投資は、一部で弱い動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、全体としては弱い動きが続いているものの、持ち直しつつある。住宅投資は、弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、弱い動きが続いている。雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	経済活動の再開により、総じてみれば下げ止まっているものの、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるもとで、厳しい状況が続いている。	<u>新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある。</u>	
需要項目	公共投資	堅調に推移している。	堅調に推移している。
	輸出	大幅に減少している。	<u>弱い動きが続いているものの、持ち直しつつある。</u>
	設備投資	横ばい圏内の動きとなっている。	<u>一部で弱い動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。</u>
	個人消費	下げ止まっているものの、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるもとで、弱い動きとなっている。	<u>全体としては弱い動きが続いているものの、持ち直しつつある。</u>
	住宅投資	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。
生産	弱い動きが続いているものの、下げ止まっている。	<u>一部で持ち直しの動きがみられるものの、弱い動きが続いている。</u>	
雇用	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

輸出は、弱い動きが続いているものの、持ち直しつつある。

設備投資は、一部で弱い動きがみられるものの、横ばい圏内の動きとなっている。9月短観における2020年度の設備投資は、前年を下回る計画となっている。

個人消費は、全体としては弱い動きが続いているものの、持ち直しつつある。

食料品や日用品等の販売は引き続き堅調に推移しているほか、9月の連休には大型小売店や宿泊施設等では賑わいがみられるなど、持ち直しの動きがみられているが、その度合いは業態毎にばらつきがある。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

3. 生産

生産は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、弱い動きが続いている。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	持ち直している。
	電炉	弱い動きとなっている。
化学		高水準で推移している。
セメント		弱い動きとなっている。
住設機器		弱含んでいる。
電気機械		横ばい圏内で推移している。
電子部品		幾分弱含んでいる。
自動車		持ち直している。

4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、0%程度となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響による法人資金需要の高まり等を背景に、前年を上回って推移している。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、低下傾向が続いている。

以上